

相撲部

専門部長 角 敬 一 郎

専門委員長 小 形 祥 三

平成26年度の相撲競技の各大会、および専門部における諸行事も無事終りをむかえようとしています。これも角専門部長をはじめ、前野路専門委員長、専門委員の先生方、佐賀県相撲連盟の皆様方のご理解とご協力あつてのことと深く感謝申し上げます。

さて、この1年を振り返って見ると、長年にわたり専門部長としてお世話になった野路先生のご退職を機に、相撲専門部の減員を余儀なくされ、県高体連の事務局の皆様にも多大な迷惑をかけながらどうかここまで辿り着いた感じである。しかし、現在、県全体の高校生の相撲競技者は、多久高校・唐津青翔高校の2校合わせても11名の在籍しかなく、競技人口の増加への手立てが急務でありながら、専門委員長として何の手立てもできずに過ぎた反省の1年であったと言える。強いて今年度変わった事を述べるとすれば、ここ数年多久高校で行っていた県高校総体を唐津市体育の森運動公園相撲場へ場所を移し開催したことだろう。大会結果は、参加校は上記の2校で出場人数は少なかったものの、唐津青翔高校が団体戦8連覇を死守し、個人戦では多久高・岡本選手が無差別級3連覇を達成

するなど連覇のかかった緊迫した試合が繰り広げられた。中でも、九州大会個人出場の切符のかかった個人戦無差別級4位決定戦において、多久高・鳥越選手、唐青高・寺田選手、同・菊谷選手3人による巴戦は見応えがあつた。結局寺田が4枚目の切符を手にしたが、なかなか勝負が着かず何回も巴戦のやり直しとなり、大熱戦のうちに幕を閉じた。

九州大会は、福岡県久山相撲場で行われ、唐津青翔高校・多久高校の2校が県代表として出場した。団体戦は、15チームで予選3回戦が行われ、両校ともに予戦1回戦は善戦したものの惜敗し、その後は波に乗れないまま2校とも予選敗退となった。個人戦は、各階級へ県代表選手が出場したが、皆が苦戦する中、無差別級トーナメント戦において唐青高・寺田選手が75kgの軽量ながら、160kgの相手に対し寄り切りで勝ち、ベスト8入りしたのは圧巻であつた。

全国高校総合体育大会相撲競技は、相撲の聖地と呼ばれる両国国技館で開催された。団体戦は、8年連続出場の唐津青翔高校が予選1回戦で広島県・尾道高校に勝利し予選通過が期待された。しかし、全国の壁は厚く、予選2回戦では準優勝校の大阪・近畿大学付属高校に0-5で力の差を見せつけられ、続く山梨・谷村工業高校にも1-4で敗れた。予選結果は、1勝4点の成績に終わり予選通過とはならなかった。個人戦は、県予選1位の多久高・岡本選手を中心に、唐青高・柴田選手、多久高・孫城選手が個人戦決勝トーナメントを目指し予選3回戦を戦ったが、健闘むなしく3名とも予選敗退という結果であつた。団体戦・個人戦ともに、満足する結果とは言えないが、体格差のある選手との対戦や強豪校との対戦においても、臆することなく堂々と戦ってくれたことは賞賛を送りたい。

●大会成績

平成26年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会
第92回 全国高等学校相撲選手権大会

平成26年8月5日(火)～8月7日(木)

場所：国技館

【団体予選】

1回戦 唐津青翔 3 - 2 尾道高校(広島)
2回戦 唐津青翔 0 - 5 近大付属(大阪)
3回戦 唐津青翔 1 - 4 谷村工業(山梨)

【個人予選】

岡本 朗 (多久) 0勝3敗 予選敗退
柴田竜也 (唐青) 1勝2敗 予選敗退
孫城拓未 (多久) 0勝3敗 予選敗退

平成26年度 全九州高等学校体育大会

第67回 全九州高等学校相撲競技大会

平成26年7月6日(日)

場所：福岡県久山相撲場

【団体予選】

1回戦 唐津青翔 1 - 4 猶興館高(長崎)
2回戦 唐津青翔 1 - 4 中部農林(沖縄)
3回戦 唐津青翔 0 - 5 鹿児島商(鹿児島)

0勝2点 予選敗退

1回戦 多久高校 2 - 3 鵬翔高校(宮崎)
2回戦 多久高校 0 - 5 北部農林(沖縄)
3回戦 多久高校 0 - 5 楊志館高(大分)

0勝2点 予選敗退

【個人戦】

○100kg以上級トーナメント

孫城 拓未 (多久) 3回戦敗退

○80kg以上100未満級トーナメント

柴田 竜也 (唐青) 1回戦敗退

菊谷 勇斗 (唐青) 1回戦敗退

○無差別級

寺田 拓巳 (唐青) ベスト8入賞

岡本 朗 (多久) 2回戦敗退

柴田 竜也 (多久) 2回戦敗退

孫城 拓未 (多久) 1回戦敗退